

市川自然博物館

8・9月号

(通巻69号)

だより

花 III 『海辺の花』 の特集



△ コマツヨイグサの花

海辺に特有の植物ではありませんが、砂浜で多く見られます。

夜に咲く花は、花びらも雄しべも雌しべも、すべてが黄色です。

*写真をカラーでご覧いただけます。 ホームページ版『博物館だより』もどうぞよろしく。
<http://www.city.ichikawa.chiba.jp/nature/>

花Ⅲ 『海辺の花』

の特集

東京湾に面して位置する市川市には、かつては干潟やアシ原が多く存在していました。現在は都市化の進展によって沿岸部の形状が大きく変わってしまいましたが、それでもなお、海辺の自然を残している場所があります。江戸川放水路です。今回は、江戸川放水路で見られる「海辺の花」を紹介します。

ウシオハナツメクサ

アシ原のまわりの砂地などに生える高さ10cmくらいの植物です。全体の印象は、同じナデシコ科のハコベやミミナグサと似ていますが、5枚の白い花びらは先端がピンク色で、黄色い雄しべとも相まって、小さいなりにきれいな花を咲かせます。

(花：5月 ナデシコ科)



ハマエンドウ

名前のとおり、浜に生える豆の仲間です。海岸で見られる多くの植物と同じく厚い葉と長い地下茎をもっています。園芸植物のスイートピーと同じグループに属し、品種改良されたスイートピーほどの華麗さはないものの、濃い紫色の花を咲かせます。同じマメ科でも、たとえばカラスノエンドウなどとは、だいたの花の形が違っています。

(花：5月 マメ科)

ハマヒルガオ

江戸川放水路の砂浜に群生しています。一部はコンクリートの護岸にはい上がって花を咲かせています。市内には本種のほかにヒルガオ、コヒルガオの2種類のヒルガオ類がありますが、海岸に生えるのは本種のみで、円い形の光沢のある厚い葉で区別することができます。

(花：5月 ヒルガオ科)



コウボウシバ

砂浜のような環境に生育します。九十九里海岸のような大きな砂浜では普通に見られますが、江戸川放水路には砂浜が多くなく、そのため見られる場所も限られています。ハマエンドウやハマヒルガオと同じ場所に生育しています。

(花：5月 カヤツリグサ科)



アイアシ

ヨシ(アシ)によく似た植物です。ヨシは海辺から川、池に至るまで幅広く生えますが、本種が生育できるのは海辺に限られています。ヨシとアイアシは葉はよく似ていますが、花はずいぶん違っていて、本種の花はヨシのように細かい穂にならず、硬くて太い穂が数本だけ伸びます。花の時期も、秋に咲くヨシとは異なっています。

(花：6～7月 イネ科)





トウオオバコ

海岸付近の草原に生えるオオバコの仲間です。身近に見られるオオバコにくらべて葉ははるかに大きく、花の茎も長さ50cm前後にもなります。「唐大葉子」という名前になっていますが、帰化植物ではなく、もともと日本に生育しているオオバコ的一种です。

(花：8～9月 オオバコ科)

ハチジョウナ

ノゲシと同じグループに属する植物で、花そのものは一見するとタンポポのようにも見えます。大きさは高さ1mくらいになり、地下茎で増えるので群落を形成することもあります。江戸川放水路ではあまり多くは見られません。

(花：8～9月 キク科)



ウラギク

海岸のアシ原や、時には干潟の上にも生育する野菊の一種です。埋め立て地などに一時的な群落が出現することもあります。江戸川放水路では長期にわたって安定して生育しています。花は紫色が濃く、野菊の中でも美しい部類と言えます。

(花：10月 キク科)



街かど自然探訪

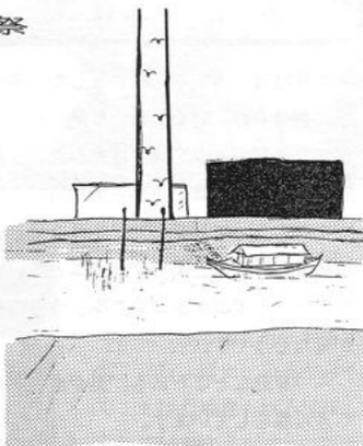
おじやします!

みなと

湊・旧江戸川と水神祭

旧江戸川沿いの高いコンクリートの堤防を覗き込むと川の水面が見え、対岸に小さいながらもアシ原を臨むことができます。堤防がなかった頃は、江戸川をすぐに見ることができ、川遊びや魚釣りなどして子供が遊んでいたことでしょう。

毎年6月30日に水神宮で行われる水神祭は、夏を前にして子どもが水難事故にあわないようにと願うお祭りです。かつてはこの場所が住民の生活に深く関わっていたことを感じさせます。



RDB レッドデータブック

掲載種紹介



分類：瘦子植物
キンポウゲ科
ランク：絶滅危惧Ⅱ類



ノカラマツ

川原などの、日当たりのいい草地に生育する多年草です。国内では本州から九州に分布するものの、生育地は点在するとされています。市内には自生地が1か所あり、一時は数株程度しか見られなくなりましたが、今年は多数の株が見られます。花は黄色味を帯びた細かなもので、真夏に咲きます。セイタカアワダチソウやクズ、カナムグラなどの競争相手が多いので、保護するためには草刈りなどの管理が必要ようです。

いろいろな生き物が見られました。

「4月21日、トンボを拾いました。半分、蟻に食べられていました。2階のペランダでコメツキムシを見つけました。6月22日、朝5時、真間川から大柏川にかけてウがもぐっていました。7月2日、上境橋付近の親水公園でザリガニとちいさな魚とハイロゲンゴロウを、うちの子が見たそうです。」

—身近なところにも、鳥や昆虫がたくさん暮らしています。

(情報提供：水垣麻理子さん)



このコーナーでは、博物館が1986年に
行ったアンケート調査の結果から、むか
しの市内の様子を紹介しています。

(原則として回答の原文のまま)

- ・ 生家は国府台でも今の四丁目の里見公園の横の方でした。家の周囲は山林で杉が多かった。あとは松だと思ふ。「なら」『くぬぎ』も所々あった。かぶと虫が沢山いた。里見公園が近くで椎の実が、はくほど落ち、リス、兎、むじな等時々見うけられた(国府台)。
- ・ 子供の頃夏の夕方銀ヤンマの大群が千葉街道を東より西に向かって飛んできたので四角いヤンマ取網で取った(鬼越)。
- ・ 家の近くにドブ川がありまわりは、田んぼで、江戸川まで、何も無かった。ドブ川には、メダカやダボ、どじょうがいた。水が時々出水し、金魚がながれてきたりした。ホテルが多く見られた(市川南)。

観察ノート

◆大町公園より

- ・大きなシマヘビがヒキガエルのおたまじゃくしの群れの中にいました(5/14)。たぶん、ごちそうをいただきに来たのでしょう。

宮橋美弥子(自然博物館)

- ・カブトムシがクヌギの樹液に来ていました(6/16)。

清野元之(自然博物館)

- ・アカガシの花が満開になりました。よく似たシラカシの花も満開です(5/22)。
- ・クマノミズキの花が満開になりました(6/19)。花の少ない時期ということもあって、ミツバチやキアゲハ、ミドリシジミなどが来ていました。

金子謙一(自然博物館)

◆柏井雑木林より

- ・エゴノキの花が満開になりました。日当たりの良い株なのでほかより少し早いようです(5/18)。
- ・アカシジミがクリの花で蜜をすっていました(6/15)。

小川 晃(自然博物館)

◆北方遊水池付近より

- ・連結したギンヤンマのペアが飛来し、田んぼに産卵していました(6/22)。

金子謙一

◆国府台付近より

- ・アオバズクの成鳥を2羽を見ました(5/27)。その後アオバズクは順調に抱卵しているようです(6/10)。

根本貴久さん(菅野在住)

◆里見公園より

- ・「ジジロジジロ」と鳴くコメボソムシクイの声を聞きました(6/3)。

根本貴久さん

◆堀之内貝塚公園より

- ・考古博物館の中庭でタヌキの散歩に出会いました(5/28)。

岩佐昌明さん(東菅野在住)

- ・オオルリが大声でさえずっていました(6/3)。

根本貴久さん

- ・フクロウを2回見ました(6/26)。

石井信義さん(菅野在住)

◆じゅん菜池公園より

- ・久し振りにカワセミのオスを見ました(6/11)。

根本貴久さん

◆宮久保周辺より

- ・「ホーホー、ゴロスケホーホー」と鳴くフクロウの声を聞きました(5/9)。
- ・ホトトギスが鳴いていました(6/2)。

宮崎和久さん(宮久保在住)

◆江戸川放水路より

- ・ハマヒルガオが砂浜のような場所に群生して花を咲かせていました(6/1)。ツルナヤコウボウシバなども咲いていました。

金子謙一

◎6月は例年より雨量が多く、梅雨冷えが続きました。



行事案内



§ 申込の必要な行事です §

自然観察会

毎月テーマを変えて、市内各所に出かけます。内容によりコースの区別があります。

- 一般コース…大人向けの内容です。じっくりと観察し、分類や環境などについてわかりやすく解説します。定員 先着20名
- 親子コース…親子向けの内容で、楽しみながら自然に親しみます。定員 先着10組

テーマ	コース	日時	場所	受付開始
長田谷津の夏	親子コース	9月9日(土)午前	大町自然観察園	8月19日～
	一般コース	9月10日(日)午前		
秋の江戸川放水路	親子コース	10月14日(土)午前	江戸川放水路	9月23日～
	一般コース	10月15日(日)午前		

虫の声を聴こう

虫の音を聞き分けたり、その姿を観察します。コースの区別は自然観察会と同じです。

- *日時…9月16日(土) 親子コース
17日(日) 一般コース 両日とも午後6時～8時
- *場所…自然博物館周辺
- *定員…各日先着30名
- *受付開始…8月26日～

〒申し込み方法

往復はがきに参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号、行事名と参加したいコース名、参加希望日を明記の上、自然博物館までお申し込みください。

§ 申込の必要はありません § 直接会場におこしてください。

名前をしらべる会

あなたがつくった植物・昆虫の標本に専門の先生が名前をつけます。

- *日にち…8月20日(日)
- *受付時間…午前10時～11時30分 午後1時～3時30分
- *会場…市民会館(葛飾八幡宮参道脇)

柏井散策会

雑木林を散策します。

はじめて参加される方は、事前に博物館にお問い合わせください(交通手段等ご案内します)。

- ・日時 毎月第3土曜日 午後1時30分～3時
- ・雨天は中止です。

市立市川自然博物館だより
第12巻 第3号 (通巻第69号)
発行日/平成12年8月1日
編集・発行/市立市川自然博物館
〒272-0801 千葉県市川市大町284番地
☎047(339)0477
<http://www.city.ichikawa.chiba.jp/nature/>